

社会福祉法人スプリング



「職員を大事にする取組を外部に宣言、実践する」

令和4年8月認定

八戸市で特別養護老人ホームや通所介護、訪問介護などのサービスを提供する社会福祉法人スプリングは、令和4年青森県内唯一となるプラチナえるぼし認定を取得しました。女性活躍推進に取り組むきっかけや取組内容について、同法人の中谷さん、大久保さん、関下さんにお話を伺いました。

「えるぼし認定」取得の背景

現在、介護の仕事はワークライフバランスを実現できる仕事ですが、かつては、妊娠・子育て中にサポートを受けながら働き続ける事は遠慮でしかなく、迷惑をかけるより退職した方がよいのでは、と悩む職員が少なくなかったと記憶しています。こうした前の世代の困難を次の世代のために改善したいという思いを原点に職場環境改善に取り組み、安心して子供を産み育てる環境を皆で作ってきました。その姿勢を内外から見える化するため、取組は全て「えるぼし」等の認定取得に変えていきました。

不公平感がないように

男女差もあるし、結婚を選択しない人、子供を持たない選択をする人もいます。女性活躍だけに着目して環境を整えている訳ではありません。以前は子供を持たない若い世代が子育て世代をフォローするという意識が強かったと思いますが、若い方にも自分の時間を使って欲しい。法人全体でフォローするという考えで長時間労働是正を進め、休みの希望もほぼ叶えられるようになりました。全世代の職員が不公平感を感じないために一番わかりやすいのは定時出勤、定時退勤です。職員には「朝はギリギリに来てください」と伝えています。

機械化、ICT化

これまでの取組では、「一人ひとりが大切な職員であり、お互い様だから思いやりを持ってサポートしよう」という職員の意識改革が大きかったです。ただ、精神論だけでは解決が難しいため、機械化、ICT化が必要になります。職員の身体的負担軽減



社会福祉法人スプリングの皆さん

福寿草インスプリング 統括施設長 中谷 美由紀さん (2列目左から5人目)
ケアプラザ福寿草 所長 大久保 友妃子さん(2列目一番右)
ケアプラザさざなみ 関下 美香さん(2列目左から6人目)

のためのノーリフティングケア (持ち上げない介護)の推進や、業務効率化のためタブレットにより介護記録を作成する等の ICT 化を図っています。来年には音声入力システムも導入する予定です。



ノーリフティングケア

採用における手応え

以前は人材紹介会社を利用していましたが、職員を大事にする取組を外部に宣言、実践することで、昨年ごろから採用に関する問い合わせが徐々に増えています。急に欠員が生じることもありますが、人繰りには困っていません。

「えるぼし認定」を検討する企業へのアドバイス

一度申請する意識で、現在の取組を整理することをお勧めします。その中で発見した新たな課題に向け、取組を進めることができると思います。

スプリングで働く方は、「二人の子育てをしているが、行事にも全部参加できている」「介護をしながら働いているが、定時で帰れるので大変じゃない」と笑顔で語ってくれました。

(取材日:2025年6月6日)

法人概要

社会福祉法人スプリング

所在地	八戸市大字妙字西平 6 番地 27
設立	1976 年 5 月
職員数	186 名
事業内容	特別養護老人ホームや通所介護、訪問介護などのサービス提供